

この問題集は、全三冊で構成される「入試現代文へのアクセス」シリーズの第三冊目「完成編」である。入試現代文の基本問題集の決定版として評価されてきた「基本編」が刊行されてからちょうど二十年、ようやく全三冊のシリーズとして完結させることができた。これもひとえに、これまで、膨大な受験生諸君から熱い支持をいただいて来たおかげである。心から感謝したい。

さて、本書は「発展編」よりもさらに高度な力を養うことを目的としつつ、「わかりやすさ」と「使いやすさ」というシリーズの特徴も兼ね備えたものになるよう、きめ細かな配慮のもとに編まれたものである。

なお「入試現代文へのアクセス」という、シリーズの表題は、

きちんと筋道を通して、入試現代文の正解に迫るIIアクセスすること

を意味する。

この問題集も、**ステップ1**と**ステップ2**各八題ずつ、合計十六の問題で構成されている。「基本編」もしくは「発展編」を終えた諸君を、どのような難関大学の問題にも十分に対処できる状態にまで導き、現代文学習を完成させるものとなっている。

本書は特に次のような諸君に最適である。

- I 「入試現代文へのアクセス 基本編」もしくは「発展編」を終えて、より高度な学力を身につけたい。
- II 「入試現代文へのアクセス 基本編」もしくは「発展編」を終えたのちに、入試の過去問などに取り組んでみたが混乱が生じてきて調子が悪いので、ふたたび、現代文学習の指針をより高度な水準で確認していきたい。

▽▽▽ 本書の5つの特徴

① **本文と設問のわかりやすい解説。** 文章を読む力を養うための「**本文の解説**」と、それに即した解答の仕方（**設問の解説**）でわかりやすく示すことに全力をつくした。

② **きめ細かな語句解説。** 現代文特有の用語の意味がわからずに苦しんでいる諸君のために、本文に出てくる重要語について、各本文の後に「**語句の意味**」を示し、最重要語は「**現代文のキーワード**」として掲げ、詳しく解説した。

③ **基本的な読解のポイントⅡ**（**読解へのアクセス**）。文章をどう読めばいいのか悩んでいる諸君のために、文章を読む際の具体的指針を「**読解へのアクセス**」という形で示した。

④ **解法のポイントⅡ**（**正解へのアクセス**）。設問への取り組みに苦勞している諸君のために、別冊子の「**設問の解説**」の中でも、基本的な解法のポイントを「**正解へのアクセス**」という形で示し、ていねいに解説した。

⑤ **幅広く高度な読解力に結びつく文章選択。** 近現代の著者による多様な分野の文章、しかも面白く読み応えのあるものを載せることをこころがけ、高度な読解力が総合的に養成されるように設問を練り上げた。

▽▽▽ 本書の構成

◆ それぞれの問題は、まず本文と設問があり、次に「**語句の意味**」と「**本文の解説**」が続いている。〔本文+語句の意味+本文の解説〕を結びつけて学習することで、真の読解力が養われるはずだ。

◆ それぞれの設問の解答と解説は、別冊子にしてある。問題を解くときや、本文と「本文の解説」を検討しているときに設問に関わる内容が目に入らない方が、落ち着いて取り組めるからである。

◆ 「**語句の意味**」は、本文での意味を重視して、簡潔な解説をこころがけた。また特に現代文読解のうえで重要な頻出語句は、「**現代文のキーワード**」として掲げ、ていねいに解説している。さらに、解説された語句すべてについて、単語集のような使い方もできるように、巻末に「**語句索引**」をつけてある。また、p41・94・112・133・172の「**確認しよう**」には、「**基本編**」と「**発展編**」に出て来た主要なキーワードが解説してある。

◆ 「**読解へのアクセス**」・「**正解へのアクセス**」は、あとからフィードバックして確認しやすいよう、基本編から一貫した通し番号をつけている。

◆ 「**読解へのアクセス**」・「**正解へのアクセス**」は、チェックしやすいように、本冊子巻末のp174・175には「**基本編**」と「**発展編**」と本書に出てきた**読解へのアクセスすべての一覧表**を掲げている。同様の形で、解答・解説冊子のp70～73に**正解へのアクセス一覧表**を掲げている。

◆ 本冊子の巻末に、小説を除く十四題の文章の本文要約(二〇〇字)を掲載した。要約のポイントも付けてあるので、復習時に活用してもらいたい。

◆ 参考までに、各問題とも、本文の下に同じ著者の文章の入試出題歴を簡単に示してある。

◆ また、「**解答**」には各問50点で配点をつけてあるので、参考にしてもらいたい。

ステップ1

- 第一問 「動機と物語」 井上 俊……………12
- 第二問 「子どもが忌避される時代」 本田和子……………22
- 第三問 「食物読本」 種村季弘……………32
- 第四問 「現代思想の立場から」 西谷 修……………42
- 第五問 「魔術師になるな」 武田泰淳……………52
- 第六問 「子ども学序説」 浜田寿美男……………62
- 第七問 「笑い」 寺田寅彦……………72
- 第八問 「庄助さん」 木内 昇……………82
- ★確認しよう……………41・94・112・133・172

ステップ2

- 第九問 「自由はどこにあるのか」 河野哲也……………96
- 第十問 「大人と子供の文学」 古井由吉……………104
- 第十一問 「知の植民地主義を撃つ」 岡 真理……………114
- 第十二問 「デカダン文学論」 坂口安吾……………124
- 第十三問 「ニヒリズムとしての現代芸術」 三浦雅士……………134
- 第十四問 「仮面の表情」 花田清輝……………144
- 第十五問 「民族という虚構」 小坂井敏晶……………154
- 第十六問 「夜の靴」 横光利一……………162
- ★読解へのアクセス一覧……………174
- ★要約してみよう……………176
- ★語句索引……………184